

# 広島国際大学への入学に向けて

広島国際大学教育・学生支援機構長  
山中 浩泰（薬学部・教授）



2026年度に本学への入学を迎える予定の皆さん、先ずは入試合格おめでとうございます。  
皆さんにとって大学合格はゴールではなく、ここからが新たなスタートになります。入学される皆さんそれぞれが夢と希望を抱き、本学の門をくぐられることを教職員一同心待ちにしています。



広島国際大学・呉キャンパス

大学では、自分の目指す道を専門的な学修を進めて追求することになります。一方で、大学は仲間（同級生、先輩、後輩）との大切な出会いの場でもあります。さらに、サークル活動をはじめ、様々な課外活動にもチャレンジできる場でもあります。そのような場を通じて、他者と協働して事を成すことで、自身をより一層成長させることになります。不安もありますかも知れませんが、数々の発見や喜びも待っています。自分の将来に期待し、本学で大いに成長を遂げてください。

さて、本学が目指す将来像とそれに関連する学びについて、以下簡単に触れたいと思います。

## 「ともにしあわせになる学び舎；ウェルビーイングの実現へ」

本学は、これまで「健康・医療・福祉」分野において地域に根差す総合大学としての歩みを続けてきました。そして、2024年度からは健康科学部に社会学科を開設し、学生自らが地域に赴き、活動する教育を展開します。「ひとをつなぎ、くらしをつなぎ、未来へつなげる」というコンセプトの下、学生・教職員そして地域住民を巻き込んで「ともにしあわせになる学び舎」を目指しています。入学する皆さんがその舞台で演じる主役となって大いに活躍されることを希望します。

皆さんが大学で得た能力をフルに活かし、社会でさらに活躍することで、自身に関わる人のウェルビーイング（しあわせ）の実現に寄与することになります。そのような社会貢献を果たす人材になれることを夢見ながら、本学での学修に邁進していきましょう。本学で学ぶ皆



呉キャンパス・ローズガーデン

さん一人一人がピースとなって、互いに協力し、協働して「人々のしあわせに寄与する」という大き

東広島キャンパス・アクティブウェルネスセンター



なジグソーパズルを完成させていくことができれば、「地域に根差す広国大としてのブランド」も向上していくことでしょう。

皆さんは、4年間あるいは6年間の貴重な時間を大学で過ごすことになります。日々の行動を大切に、実りある大学生活を送ってもらうことを切に願っています。その中で、困ったことが生じた時は、いつでも教職員に相談して下さい。

## 「自己認識と他者理解」

大学へは多くの学生が入学しますが、学生の個性は多種多様です。入学される皆さんは、まずは将来に向けた自身の目標を改めてしっかりと描いて下さい。一方で、正課活動や課外活動の場面では、多くの同級生・先輩と出会うことになります。他者の立場や考え方などは、必ずしも自身のそれと一致するとは限りません。ここで、大切なのは他者を受容し理解することになります。その行動が良き仲間を形成することになりますし、これまでの自身とは異なる新たな発見や学びにもつながり、自身の成長を促す結果になることも少なくありません。そのような意味においても、本学で遭遇した仲間を是非大切に、大学生活を謳歌してもらえればと思っています。



大学の授業の中には、数人がチームを組んで協働して学ぶ授業があります。例えば、皆さんが入学後、一年生必修科目として「チュートリアル」や「専門職連携基礎演習」という科目が設定されています。これらの科目では、数名がチームを組んで課題に取り組みます。チームが一つの共同体としてうまく機能するためには、自身のことも他者に解ってもらう必要がありますし、他者のこともしっかりと理解する必要があります。

そのようなプロセスを是非とも楽しみながら、互いに学びあってもらえればと思っています。

「直面する問題に対して、他者と協働して解決へと導く」場面は、今後の皆さんの人生においても何度も遭遇すると思います。そのような時に、大学の授業で得た相互学修の経験が大いに役立つと思います。「ともに学び、ともに成長する」大切さがこれらの授業を通じても体现されることになる

でしょう。皆さんが積極的に行動するにあたり、もし仮に自身に殻があるのであれば、入学後はその殻を破って大いに他者と交わってみてはいかがでしょうか？

「自身が変わる」ことも大きな成長へつながります。皆さんの活躍を期待しています。

